

令和7年度

浸水対策下水道管路敷設矢来四丁目第2工区工事
(長清水排水区)

数量計算書

令和7年8月

上山市上下水道課

1. 数 量 集 計 表 (調 書)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

												1/2			
管 理 孔 マ ン ホ ー ル エ 数 量 集 計 表															
名 称	区 分	単 位						No.6 (+567.10)					計	設計数量	適 用
【材料費】															
人孔鉄蓋	受枠共 T-25	組						1					1	1	
調整モルタル	1:3	mm													
ハイブラ調整リング 上部調整用	10mm	組													
〃	20mm	組						1					1	1	
〃	30mm	組													
〃	40mm	組													
〃	50mm	組						1					1	1	
〃	100mm	組													
ハイブラ調整リング 下部調整用	600×50	個													
〃	600×150	個						1					1	1	

[illegible]

2. ボックスカルバート布設工

ボックスカルバート布設工・基礎工 (RC-□900×900mm)

概 要 図	名 称	規 格	計 算 式	数 量
	ボックスカルバート (形状・種別)	RC-900×900mm	二次製品 (耐震性接着継手)	
	据 付 工 (材料表より)		L= 59.134 + 33.374 + 17.418	
			= 109.926	109.926 m
	函 渠 本 数		n= 34 + 18 + 9	
			= 61	61 本
	TB目地 パッキン		T= 61 箇所	61 箇所
	基 礎 工	施工延長	L= 59.134 + 33.374 + 17.418	
			= 109.926	109.926 m
	単 位 当 り 数 量			
	敷きモルタル	配合1:2 1.0m当り	A= 1.160 × 0.020 × 1.00 m	= 0.023 0.023 m ² /m
		配合1:2 10.0m当り	A= 1.160 × 0.020 × 10.00 m	= 0.232 0.232 m ² /10m
	基 礎 コンクリート工	18N-8-40 1.0m当り	V= 1.360 × 0.100 × 1.00 m	= 0.136 0.136 m ³ /m
		18N-8-40 10.0m当り	V= 1.360 × 0.100 × 10.00 m	= 1.360 1.36 m ³ /10m
	基 礎 型 枠 工	一般型枠 1.0m当り	A= 0.100 × 2箇所 × 1.00 m	= 0.200 0.200 m ² /m
		一般型枠 10.0m当り	A= 0.100 × 2箇所 × 10.00 m	= 2.000 2.000 m ² /10m
	砕石基礎工	RC-40 1.0m当り	A= 1.360 × 1.00 m	= 1.360 1.36 m ² /m
		RC-40 1.0m当り	A= 1.360 × 10.00 m	= 13.600 13.60 m ² /10m
	基 面 整 正	基礎砕石上部 1.0m当り	A= 1.360 × 1.00 m	= 1.360 1.36 m ² /m
		基礎砕石上部 10.0m当り	A= 1.360 × 10.00 m	= 13.600 13.60 m ² /10m

ボックスカルバート材料表 (RC-□900×900mm)

No. 12

路線	規格	計 算 式	数 量
長 -1006	標準品 (2.00m/個)	L= 2.005 × 22 本	44.110 m
		n=	22 本
	標準品 (2.00m/個)	L= 2.005 × 本	0.000 m
	特配筋仕様	n=	0 本
	標準品 (人孔孔付)	L= 2.005 × 本	0.000 m
		n=	0 本
	標準品 (横孔付)	L= 2.005 × 2 本	4.010 m
	VUφ300	n=	2 本
	短尺品	L=	0.000 m
		n=	0 本
	片斜切品	L= 1.366 + 1.366 + 0.988 + 0.988 + 0.781 + 0.781	
	(上段：中心長)	(1.375 × 1.357) (1.375 × 1.357) (1.009 × 0.968) (1.009 × 0.968) (0.816 × 0.745) (0.816 × 0.745)	
	(下段：長辺,短辺長)	+ 1.012 + 1.012 + 1.005 + 1.715	11.014 m
		(1.016 × 1.009) (1.016 × 1.009) (1.036 × 0.974) (1.746 × 1.684)	
		n=	10 本
	片斜切品 (人孔孔付)	L=	0.000 m
		n=	0 本
	両斜切品	L=	
	(上段：中心長)		
	(下段：長辺,短辺長)		
			0.000 m
	TB目地 パッキン	n= (※斜切部及び断面変化部は計上しない)	34 箇所
	両斜切品 (人孔孔付)	L=	0.000 m
	(上段：中心長)		
	(下段：長辺,短辺長)	n=	0 本
	延長小計	L=	59.134 m
	本数小計	n=	34 本

ボックスカルバート材料表 (RC-□900×900mm)

No. 13

路線	規格	計 算 式	数 量
長 -1007	標準品 (2.00m/個)	L= 2.005 × 14 本	28.070 m
		n=	14 本
	標準品 (人孔孔付)	L= 2.005 × 本	0.000 m
		n=	0 本
	標準品 (横孔付)	L= 2.005 × 本	0.000 m
		n=	0 本
	短尺品	L=	0.000 m
		n=	0 本
	短尺品 (人孔孔付)	L=	0.000 m
		n=	0 本
	片斜切品 (上段：中心長)	L= 1.750 + 1.276 + 1.139 + 1.139 (1.757 × 1.743) (1.283 × 1.270) (1.150 × 1.129) (1.150 × 1.129)	
	(下段：長辺, 短辺長)		5.304 m
		n=	4 本
	片斜切品 (人孔孔付)	L=	0.000 m
		n=	0 本
	両斜切品 (上段：中心長)	L=	
	(下段：長辺, 短辺長)		
			0.000 m
	TB目地 パッキン	n= (※斜切部及び断面変化部は計上しない)	18 箇所
	両斜切品 (人孔孔付)	L=	0.000 m
	(上段：中心長)		
	(下段：長辺, 短辺長)	n=	0 本
	延長小計	L=	33.374 m
	本数小計	n=	18 本

ボックスカルバート材料表 (RC-□900×900mm)

No. 14

路線	規格	計 算 式	数 量
長 -1008	標準品 (2.00m/個)	L= 2.005 × 7 本	14.035 m
		n=	7 本
	標準品 (人孔孔付)	L= 2.005 × 1 本	2.005 m
		n=	1 本
	標準品 (横孔付) VUφ300	L= 2.005 × 本	0.000 m
		n=	0 本
	短尺品	L=	0.000 m
		n=	0 本
	短尺品 (人孔孔付)	L=	0.000 m
		n=	0 本
	片斜切品 (上段：中心長)	L= 1.378 (1.605 × 1.151)	
	(下段：長辺, 短辺長)	横孔付 (VUφ300)	1.378 m
		n=	1 本
	片斜切品 (人孔孔付)	L=	0.000 m
		n=	0 本
	両斜切品 (上段：中心長)	L=	
	(下段：長辺, 短辺長)		
			0.000 m
	TB目地 パッキン	n= (※斜切部及び断面変化部は計上しない)	9 箇所
	両斜切品 (人孔孔付)	L=	0.000 m
	(上段：中心長)		
	(下段：長辺, 短辺長)	n=	0 本
	延長小計	L=	17.418 m
	本数小計	n=	9 本

3. \pm

I

土 工 計 算 書（開削 建込簡易土留工）

No. 1

路線 番号	測点 番号	ボックス カルバート 形 状	掘削 深	平均 掘削 深	舗 装 (種別1)		舗 装 (種別2)		掘削(覆工部)		掘削(函渠部)		掘削 方式	埋戻(覆工部)		埋戻(函渠部)		掘削 延長	掘削土量		埋戻し土量				残土量	備考
	下流 上流		上流 下流		舗装厚 仮復旧厚	種別1 掘削深	舗装厚 仮復旧厚	種別2 掘削深	幅 深さ	幅 深さ	幅 深さ	幅 深さ		種別1 幅 深さ	種別2 幅 深さ	種別1 幅 深さ	種別2 幅 深さ		素掘 函渠部 土 量	土留 函渠部 土 量	素掘 函渠部 土 量	土留 函渠部 土 量	BOX 基礎 控除	計		
		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)		
			</																							

4. 土 留 工 (建 込 簡 易 土 留 工 施 工)

土留工計算書

路線 番号	測番	点号	路線 延長	掘削 深	掘削減長		掘削 延長	土留高 控 除 (覆工板)	建 込 簡 易 土 留 工								備 考
	下 上	流 流			下流側	上流側			H=1.50	H=2.00	H=2.50	H=3.00	H=3.50	H=4.00	H=4.50	H=5.00	
長1006			66.60	1.68	0.00	0.00	66.60			66.60							
長1007			33.40	1.91	0.00	0.00	33.40			33.40							
長1008			17.10	1.95	0.00	0.00	17.10			17.10							
小計			117.10				117.10			117.10							
計			117.10				117.10			117.10							

建て込み簡易土留め工 供用日数計算

補助

条 件	路線名	長1006							
建込簡易土留工	H =	2.00	m	BOX断面	900*900 mm	舗装厚 t =	0.00 m	掘削幅 W =	2.30 m
施行延長	L =	66.60	m						
平均掘削深	h =	1.680	m						
スパン数	2.2		スパン (L/30.0m)						

工 期 日 数 算 定 表

工 種	1スパン当り施工量						日当り作業量		計 算 式				日 数		摘 要		
予 堀	2.30	×	0.50	×	30.00	=	34.5 m3	230.0	m3／日	34.5	／	230.0	=	0.2	1.4 日	BF 0.60	m3
床 堀	2.30	×	1.18	×	30.00	=	81.4 m3	109.0	m3／日	81.4	／	109.0	=	0.7		BF 0.60	m3
建込み工	30.0 m						55.6	m／日	30.0	／	55.6	=	0.5				
函渠敷設工	30.0 m						11.0	m／日	30.0	／	11.0	=	2.7	2.7 日			
埋戻し工	2.30	×	1.68	×	30.00	=	115.9 m3	145.0	m3／日	115.9	／	145.0	=	0.8	0.8 日		
引抜き工	30.0 m						100.0	m／日	30.0	／	100.0	=	0.3	0.3 日			

工 期		
掘 削・建 込	1.4 日	0.0
函渠敷設	2.7 日	1.4
埋 戻 工	0.8 日	2.8
引 拔 工	0.3 日	2.8
土留供用日数	3.6 日	3.6

$$\text{建込簡易土留工供用日数} = 1\text{スパン}30.0\text{m} \times 3.6\text{日} \times 2.2\text{スパン} \times 1.67 = 13.2 \div 13\text{日}$$

実工事日数 $1 \text{ スパン } 30.0 \text{ m} \quad 3.6 \text{ 日} \times \quad 2.2 \text{ スパン} \quad = \quad 7.9 \div \quad 8 \text{ 日}$

建て込み簡易土留め工 供用日数計算

補助

条 件	路線名	長1007							
建込簡易土留工	H=	2.00	m	BOX断面	900*900mm	舗装厚 t=	0.00 m	掘削幅 W=	2.30 m
施行延長	L=	33.40	m						
平均掘削深	h=	1.910	m						
スパン数	1.1		スパン (L/30.0m)						

工 期 日 数 算 定 表

工 種	1スパン当り施工量						日当り作業量		計 算 式				日 数		摘 要		
予 堀	2.30	×	0.50	×	30.00	=	34.5 m3	230.0	m3／日	34.5	／	230.0	=	0.2	1.6 日	BF 0.60	m3
床 堀	2.30	×	1.41	×	30.00	=	97.3 m3	109.0	m3／日	97.3	／	109.0	=	0.9		BF 0.60	m3
建込み工	30.0 m						55.6	m／日	30.0	／	55.6	=	0.5				
函渠敷設工	30.0 m						11.0	m／日	30.0	／	11.0	=	2.7	2.7 日			
埋戻し工	2.30	×	1.91	×	30.00	=	131.8 m3	145.0	m3／日	131.8	／	145.0	=	0.9	0.9 日		
引抜き工	30.0 m						100.0	m／日	30.0	／	100.0	=	0.3	0.3 日			

工 期		
掘 削・建 込	1.6 日	0.0
函渠敷設	2.7 日	1.6
埋 戻 工	0.9 日	3.0
引 拔 工	0.3 日	3.0
土留供用日数	3.9 日	3.9

建込簡易土留工供用日数 $1 \text{ スパン } 30.0 \text{ m} \quad 3.9 \text{ 日} \times 1.1 \text{ スパン} \times 1.67 = 7.2 \div 7 \text{ 日}$

実工事日数 $1 \text{ スパン} 30.0 \text{ m} \quad 3.9 \text{ 日} \times \quad 1.1 \text{ スパン} \quad = \quad 4.3 \div \quad 4 \text{ 日}$

建て込み簡易土留め工 供用日数計算

補助

条 件	路線名	長1008							
建込簡易土留工	H=	2.00	m	BOX断面	900*900mm	舗装厚 t=	0.00 m	掘削幅 W=	2.30 m
施行延長	L=	17.10	m						
平均掘削深	h=	1.950	m						
スパン数	0.6		スパン(L/30.0m)						

工期日数算定表

工 種	1スパン当り施工量						日当り作業量		計 算 式				日 数		摘 要		
予 堀	2.30	×	0.50	×	30.00	=	34.5 m3	230.0	m3／日	34.5	／	230.0	=	0.2	1.6 日	BF 0.60	m3
床 堀	2.30	×	1.45	×	30.00	=	100.1 m3	109.0	m3／日	100.1	／	109.0	=	0.9		BF 0.60	m3
建込み工	30.0 m						55.6	m／日	30.0	／	55.6	=	0.5	0.5			
函渠敷設工	30.0 m						11.0	m／日	30.0	／	11.0	=	2.7	2.7 日			
埋戻し工	2.30	×	1.95	×	30.00	=	134.6 m3	145.0	m3／日	134.6	／	145.0	=	0.9	0.9 日		
引抜き工	30.0 m						100.0	m／日	30.0	／	100.0	=	0.3	0.3 日			

工 期			
掘 削・建 込	1.6 日	0.0	1.6
函渠敷設	2.7 日	1.6	4.3
埋 戻 工	0.9 日	3.0	3.9
引 拔 工	0.3 日	3.0	3.9
土留供用日数	3.9 日		3.9

$$\text{建込簡易土留工供用日数} = 1 \text{ スパン} 30.0 \text{ m} \times 3.9 \text{ 日} \times 0.6 \text{ スパン} \times 1.67 = 3.9 \div 4 \text{ 日}$$

実工事日数 $1 \text{ スパン } 30.0 \text{ m} \quad 3.9 \text{ 日} \times \quad 0.6 \text{ スパン} \quad = \quad 2.3 \div \quad 2 \text{ 日}$

5. マ ン ホ ー ル エ

(追加距離 : +567.10)

No. 6

[illegible]